



福山大学
FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2021.3.20 Vol.167

三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



祝 卒業

令和2年度	学位記授与式	学長式辞	1
令和2年度	学位記授与式	理事長祝辞	2
令和2年度	学位記授与式	来賓祝辞(福山市長)	3
令和2年度	学位記授与式	来賓祝辞(福山商工会議所会頭)	...	4
令和2年度	学位記授与式	在学生送辞・卒業生答辞	5
令和2年度	学生表彰(卒業生・修了生)		7

卒業おめでとうございます！



福山大学イメージキャラクター
「ふくりん」

君たちがコロナ後の 社会を創る!

令和2年度 学位記授与式 学長式辞



学長 松田 文子

皆さん、ご卒業・修了おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症に翻弄された大学生活最後の1年を経て、今皆さんは無事に卒業生・修了生として、社会へ巣立つこととなりました。本当におめでとうございます。

在学中にはたくさんのことを学び、経験し、多くの人間関係を築かれたことと思います。とりわけ最後の1年は臨時休校もあり、遠隔授業もあり、卒業研究も就職活動も思うように任せず、不安やいらだちに駆られることも多かったのではないかと思います。それらを一つ一つ乗り越え、時にはプラスにして、本日の卒業を迎えました。それらの経験は、皆さんを一層強く賢くしたに違いありません。これらの成果を糧として、社会に出た皆さんが大きく花開かれることを、ここから期待しています。そして、保証人の皆様、本日は誠におめでとうございます。ご家族の皆様の長きにわたる物心両面でのご支援、とりわけ最後の1年における物心両面での細やかなご支援とご協力に、教職員一同、ここから感謝申し上げます。そして、今こうして若さと知力にあふれる若者約850人を、無事新たに世に送り出すことができますことを、皆様と共にここから喜び誇りに思います。

卒業生・修了生の皆さんは、在学中には勉学を続け、本日卒業式を迎えることが出来たわけですが、それを誇りに思うと同時に、今日までの皆さんの勉学や生活を支えてくださった家族や仲間、そして社会の人々に感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。そしてこれからは、皆さんが社会に出て社会を支える側になることをしっかり自覚しましょう。1975年に開学した福山大学は、皆さんを含めて、これまでに約38,000人の卒業生を送り出してきました。卒業生は、備後地域を中心に全国の様々な地域でリーダーや中核となって社会を担っており、また様々な形で母校の発展に貢献しており、そこに皆さんも仲間入りするのです。卒業生は本学の宝であると同時に、社会は皆さんに大きな大きな期待を寄せています。

さて、その社会は現在、なかなか難しい問題をたくさん抱えています。新型コロナウイルス感染症の世界的大流行により、社会は混乱し経済は疲弊し、その中で世界は助け合おうとするよりもむしろ分断されがちであり、民主主義の根底にあるべき寛容の精神はどこに行ってしまったのかと危惧されます。コロナ禍のみならず、地球温暖化や生物多様性の激減のような、人類に等しく降りかかっている難問は多

く、それにもかかわらず世界が一致して対応する状況にはなかなかありません。また、幾何級数的に進歩するコンピュータ技術も、遠隔授業やテレワークといった形で、今回のコロナ禍の中でも端的に示されたように、人々に多様で多大な恩恵をもたらす一方で、将来の人間の仕事のありようへの不安も生み出し、さらにコンピュータウイルスやサイバーテロといった新たなそして強大な脅威を、人工的にもたらしています。このグローバル社会においては、これらの諸問題と無関係に日本の国が成り立つことも、私たち一人ひとりが社会人として生活することも不可能です。

そして、さらに我が国は、少子超高齢化、人口減少の下でどのような持続可能な社会をどのように形作っていくのかという、これまで経験したことのない、外国にも解決のモデルのない、新しいタイプの難問に、先進諸国の中でもっとも早く直面しています。これから10年の間にも、新型コロナウイルス感染症による経済への深刻なダメージとそこからの脱却、生産年齢人口の急減と人工知能 AI の発達等により、働く環境や働き方、そしてそれらにまつわる解決すべき諸問題は増大かつ激変することでしょう。

皆さんがこれから支え創っていく社会は、このようになかなか先の見通しのつきにくいものであり、また困難の予想されるものではありませんが、それだけに皆さんが大学時代に学んで身につけた知識、技能、態度、それらを総合して発揮する人間力への期待も大きいのです。さらに、このような大学での学びを土台として生涯学び続ける覚悟も必要です。コロナ禍とその後遺症に負けることなく、前を向いて知恵を絞り、人々とつながって協力し、誠実に最善を尽くして、新しい時代を創ってください。後から振り返れば、皆さんは歴史の大きな転換期を、「歴史を創りながら生き抜いた」と言えるようであってほしいと思います。

以上、広く大学教育の成果として、今皆さんが身につけている様々な能力と態度に支えられた自信と希望を心の糧として、社会に出てもそれぞれの場所で核となる人材となり、向かってくる困難に打ち勝って、その地域を支え、そこから世界に発信し、ローカルにもグローバルにも、活躍されることを願って、もう一度、「ご卒業おめでとうございます」と述べ、式辞を終わりとします。

令和3年3月20日

実社会に羽ばたいていく 皆さんへ

令和2年度 学位記授与式 理事長祝辞



学校法人 福山大学 理事長 鈴木 省三

本日の令和2年度福山大学学位記授与式にあたりご挨拶申し上げます。卒業生・修了生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

さて、卒業生・修了生の皆さんは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、これまで経験したことのない日常の変化にも忍耐強く、的確に対応いただき、それぞれの目標に向かって日々精進され、明日より実社会に羽ばたかれますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、「新しい日常」の在り方が模索されるとともに、社会構造・産業構造が大きく変化するものと思われます。

この潮流の一つとして、DX（デジタル・トランスフォーメーション）というキーワードを耳にすることが増えているのではないのでしょうか。実はこの言葉が使われ始めたのは17年ほど前のことですが、最近の経済産業省等の定義によると「ITの活用を通じて、ビジネスモデルや組織を変革し、企業の競争優位性を確立すること」を意味します。つまりDXとは、ITの活用により業務の効率化を図るという目的を超えて、ビジネスモデルや組織を変革し、自らの競争力を高めようとするところに主眼を置くものであると言えます。卑近な例を挙げますと、皆さんが携帯端末にダウンロードして聴いている音楽は、昔はレコードやCDなどを介して聴いていましたが、音楽の再生技術が変革するなかで、音楽に関する人々の行動様式が変わり、新しい技術、イノベーションを生み出した企業は業績を拡大し、遅れをとった企業は業績の縮小に繋がっています。このような社会の変化は、コロナ禍による新しい日常において、より急激に進展するものと思われます。

一方で、新型コロナウイルス感染症が発生する前から、日本国内においては人口減少による生産年齢人口の減少問題・地域間格差の拡大、高齢化の進展による人生100年時代の到来等による社会構造・産業構造の変化への対応や気候変動によってもたらされる予想外の災害の発生など様々な問題が山積しています。これらの問題解決を目指し、持続可能な開発目標（SDGs）の達成が掲げられていますが、今後私たちはこれらの諸問題を自らの課題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの問題の解決につなげ、持続可能な社会を創造していくことが求められています。

卒業生・修了生の皆さん、大きな変化の時代を迎えた今、持続可能な社会の実現のためには、多様性を秘めた人材と

して社会で活躍することが期待されています。特に、今年度はコロナ禍によって想定していた大学生活とは異なり、予測不可能な様々な困難に直面したことでしょう。しかし、皆さんは努力と忍耐を重ねられ、本日無事に卒業を迎えられました。振り返れば、自分自身を見つめる機会の多い1年だったのではないのでしょうか。「この先の自分の人生はどのようなのか」、「どうすれば道が拓けるのか」ということをこれまで以上に考え、行動し、その試行錯誤は、新しい自分を発見することに繋がったと思います。このプロセスは、皆さんが大学で取り組んだアクティブ・ラーニングそのものです。本日の卒業をもって大学生としての学びには区切りが付きませんが、今後の輝かしい人生を過ごすためにも、この学びの姿勢を継続していくことが重要であります。皆さんは、大学で培われた知識・技術、取得された資格等に加え、「自分で情報を収集して、自分で考える」というアクティブ・ラーニングで身に付けた力を礎にして、これからも「揺るぎなく前進」されることを心より願っております。

そして福山大学の卒業生として、福山大学創設者の宮地茂先生が表明された「三蔵五訓」、すなわち（1）真理を探究し、道理を実践する。（2）豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。（3）生命を尊重し、自然を畏敬する。（4）個性を伸展し、紐帯性を培う。（5）未来を志向し、可能性に挑む。の理念をこれからも胸に刻み、誇りをもって実社会に羽ばたいてください。本学在学中に得た恩師・学友との絆はこれからの人生において貴重な宝であり、同窓会を通じて交流を深めていただき、自らを発展させるための糧としてくださるようお願いいたします。なお、本年4月には全学部共用施設・薬学部棟「未来創造館」がオープンします。最上階の11階にはカフェテリアが設けられており、瀬戸内海の素晴らしい景色を望みながら語り合うことができます。この学舎において、皆さんそれぞれが、恩師・在学生・同窓生と交差（CROSS）し、豊かな発展へと繋がることを期待しています。いつでも気軽にキャンパスに足を運び、未来創造館を訪ねてください。きっと在学時とは違った景色が見えるに違いありません。

最後になりますが、これまで慈しみ育てていただいたご家族への感謝の気持ちを大切にしてくださるようお願いするとともに、皆様方の益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和3年3月20日

令和2年度 学位記授与式 来賓祝辞



福山市長 枝廣 直幹

卒業生・修了生の皆様、御卒業、誠におめでとうございます。皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって、大学生活最後の一年は多くの困難があったことと拝察いたします。こうした逆境を乗り越えて、晴れの日を迎えられた皆様はもとより、支えてこられた御家族・保護者の皆様にも、心からお祝いを申し上げます。また、これまで熱意と愛情を持って指導にあたられた学長をはじめ、諸先生方にも、深く敬意を表します。

さて、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響は、今もなお市民生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。これからの社会は、少子高齢化がさらに進行する中、コロナ禍で生じた個人の価値観や社会経済における変化によって、AIやIoT、ビッグデータなどのデジタル技術の実用化が加速し、人々の暮らしや働き方が大きく変化していくことが予想されます。

こうした中、卒業生・修了生の皆様は、福山大学の建学の精神である「地域社会に広く開かれた大学として、学問のみに偏重するのではなく、真理を愛し、道理を实践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育」に基づき、専門的な知識や技

能のみならず、情報リテラシーや語学力、コミュニケーション能力など、様々な教養を身につけられました。これまで高めてこられた総合的な人間力は、これから社会に出られたのち、必ず大きな力になることと思います。

備後地域で唯一の総合大学である福山大学におかれましては、これまで多様な人材を輩出し、地域の社会経済だけでなく、我が国の発展にも大きく貢献してこられました。この度、御卒業される皆様も、地域の課題を解決できる人材として、また世界に貢献できる人材として御活躍いただけるものと確信しております。ここ福山で過ごされた日々には誇りと自信を持ち、皆様の夢の実現に向け、大いにチャレンジしていただくことを期待しております。

そして、社会に出られてからも、福山市との関わりを大切にいただければ幸いです。皆様が夢を実現され、いつかまた、福山市のまちづくりに貢献していただけることを切に願っております。最後に、皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げますとともに、福山大学の今後ますますの御発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和3年3月20日

令和2年度 学位記授与式 来賓祝辞



福山商工会議所 会頭 林 克士

ご卒業誠にありがとうございます。卒業生の皆様方はもとより、ご家族をはじめ、先生方など関係者のお喜びもひとしおかと拝察し、心からお祝いを申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、社会経済活動に多大な影響が発生し、残念ながら終息は見通せない状況にあります。我が国においても第2波、第3波と感染拡大の波が押し寄せるなか、経済活動のみならず、スポーツや音楽など、人々の心に楽しさや喜び、感動を届け、人生を豊かにするイベントの開催も制約され、皆様の学生生活にも大きな影響を及ぼしているのではないかと、心を痛めております。健全な社会を維持・継続していくためにも、一刻も早くコロナ禍が終息することを願ってやみません。

我々中小企業においても、経済が急激に減速するなか、生産性向上に向けたデジタル化の遅れなどの経営課題が浮き彫りとなり、AIやIoTの活用や5Gの実用化などの技術革新への対応に加え、持続可能な開発目標（SDGs）の達成など、取り巻く環境は激変のなかにあり、個人の普段の生活や仕事のスタイルにまで変化の波が押し寄せ、社会は大きく様変わりしようとして

います。このようななか、中小企業が地域の持続可能な発展の担い手として成長を続けていくためには、専門的な知識だけでなく技能・コミュニケーション能力など総合して発揮する人間力が重要であり、各企業はそうした人材を即戦力として求めています。

福山大学におかれましては、昭和50年の開学以来、常に時代のニーズに応え、確かな人間力を身につけることができる全学的教育システムを構築され、新たな時代を担う優秀な人材を数多く産業界に送り出し、地域経済をしっかりと支えて頂いております。

皆様の諸先輩方は、当地域をはじめ各地の企業で立派に職務を果たされ、高い評価を受けておられます。先輩方が切り開いてこられた信頼と実績をもとに、皆様はそれぞれの立場で、立派な職業人として日本経済の発展や、地域の振興に貢献していただけるものと確信いたしております。

終わりに、皆様が難局を乗り越える勇気と情熱を持ち、健康に十分留意され、素晴らしい活躍をされますようお祈り申し上げますとともに、貴大学の今後ますますのご発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

令和3年3月20日

令和2年度 学位記授与式（第一部）

令和2年度 学位記授与式 在學生送辞



在學生総代
薬学部 薬学科

山田 康平

新たな門出を迎えられた福山大学を卒業される皆様、ご卒業誠にありがとうございます。皆様の素晴らしい学生生活を褒めたたえるかのような春の日々に、晴れてご卒業を迎えられ、巣立っていかれる皆様に在學生を代表して送辞を贈らせていただきます。

この度卒業される皆様は、今日まで日々切磋琢磨してこられ、大学での学業はもちろんのこと、サークル活動やボランティア活動など多方面に渡りご活躍されてきました。皆様は今、4年間又は6年間の大学生活を様々な思いで振り返っておられることと思います。楽しい思い出や嬉しい思い出もあれば、辛く苦しい思い出もあるでしょう。このような紆余曲折ある経験は、この先の長い人生における先輩方の礎となることを確信しています。

在學生の生活を振り返りましても、先輩方はとても頼もしく心強い存在でした。そして、大学での日々の中で、いつも私たちを優しく導き、励ましてくださいました。私も薬局や病院へ実習に行く際には、不安に思っていることを先輩方に聞いていただき、様々な助言をいただきました。学び

の内容や環境は異なりますが、他学部の在學生も同じように感じていることと思います。皆様と一緒にさせていただいたことは、私たちにとっても大変貴重な時間であり、大学生活が一層価値ある充実したものになりました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

さて、平成の時代が終わり、新元号である令和となって2年ほどが経過しました。また、今年度は新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るいました。我が国も例外ではなく、様々な社会活動や経済活動が自粛されるなど大きな影響を受け、かつて経験したことのない事態となりました。現在はワクチン開発が臨床段階に突入しており、一日も早い収束が期待されています。

こうした逆境を乗り越え、晴れの日を迎えられた先輩方は、大学生活で得た知識や経験を活かし、様々な分野でご活躍されることと思います。私たちも、先輩方のように胸を張って卒業できるよう日々努力していきます。

最後になりましたが、皆様と過ごした大学生活は私たちにとってかけがえのない時間となりました。先輩方への感謝の言葉を在學生代表としてお伝えすることができ、非常に嬉しく思います。先輩方の更なるご健勝とご多幸を心からお祈りし、送辞とさせていただきます。

令和3年3月20日

令和2年度 学位記授与式 卒業生答辞



卒業生総代
経済学部 税務会計学科

鍋谷 玲菜

今年の冬は、大変厳しい寒さでした。その冬も終わりを告げ、本日はこのような素晴らしい式を挙行していただき、第一部卒業式の卒業生一同を代表して厚く御礼申し上げます。ここに、卒業の日を迎えられたことを大変嬉しく思います。

また、お忙しい中、理事長鈴木省三先生、学長松田文子先生をはじめ、諸先生方にご臨席をいただき、心より御礼申し上げます。先ほどは、鈴木先生並びに松田先生より訓示と激励のお言葉を賜り、また在學生の方からは温かい励ましの言葉をいただきました。関係する卒業生一同を代表して、厚く御礼申し上げます。

一昨年末から世界に広がった新型コロナウイルス感染症により、社会のありようが一変したことは皆様実感されていることと思います。世界が、地域が、人と人が、この新たな感染症のために分断を余儀なくされました。また、昨年4月には政府により緊急事態宣言が発出され、ゆるやかながらもロックダウンせざるを得ない感染状況となりました。

それに伴い、私たちの勉学もこれまでのような対面の学修ができなくなり、多くはオンラインへと移行し、それとともに学修上の困難に直面することとなりまし

た。しかし、これまであった学修資産がとても私たちにとって有益で、大切なものであったこともまた、身にしみて感じることとなりました。

私がこの大きな学び舎で学んだこと、タイへの海外研修、簿記やファイナンシャルプランナーの資格取得に励んだこと、ダンスサークルの練習に明け暮れて大勢の観客を前にその成果を披露したこと、普通の大学生活であったと思っていたものが、とても尊く、そしてまたとても儚いものであったと感じました。

加えて大学生活の様々な部分が、多くの関係者の方々の努力によって紡ぎ上げられていたことも感じることができました。この緊急事態に際して、学修や大学生活を守るために大学が支えてくれた恩恵も忘れることができません。皆様方へ深く感謝申し上げたいと思います。

私たちは今、この学び舎を旅立ちます。それぞれの進路に向けて、それぞれの人生を歩んでいきます。コロナ後の世界は、一変することでしょう。しかしながら、私たちは本学のモットーである「揺るぎなく前進！」の言葉とともに、この感染症の影響を乗り越えて、地域を、社会を変えていく原動力として、力強く進んでいきたいと思っています。

最後になりましたが、お世話になりました諸先生方並びに職員の方々、その他関係するすべての方々に改めて御礼申し上げます。

福山大学の今後ますますの発展を祈念し、答辞とさせていただきます。

令和3年3月20日

令和2年度 学位記授与式 在学生送辞



在学生総代
人間文化学部 人間文化学科

中山 舞香

厳しい冬の寒さの中にも、春の訪れを感じることの出来る季節となりました。本日、晴れてこの卒業式を迎えられた卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在学生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

今、皆様は、この福山大学での大学生活をどのように振り返っていらっしゃるでしょうか。多くの人と出会い、貴重な経験を重ね、切磋琢磨されてきた先輩方は、十人十色の思い出を築き上げてこられたことと思います。常に私たち後輩の前を歩き、お手本となってくださった先輩方の姿は、私たちにかげがえのないものを残してくださいました。

私は人間文化学科に在籍していますが、入学して間もない頃にイベントやレクリエーションを計画していただき、大学生活ならではの楽しさを教えていただきました。また、授業選択の仕方から就職活動の取り組み方まで幅広くサポートしていただきました。先輩方に自らの体験を直接教えていただき、私たち後輩はより前向きにスムーズに取り組むことができました。先輩方の温かいご指導には、感謝してもしきれない思いでいっぱいです。今日まで私たちを様々な面で支えてくださり、本当にありがとうございました。

さて、この一年間、私たちには新たな生活様式への順応が求められてきました。授業のほとんどがオンラインとなり、友人と直接顔を合わせる機会が減りました。また、先輩方からは、就職活動にも影響が出たと伺っています。このような突然の変化に戸惑いながらも、大学で学べることや友人と会えることの幸せを噛みしめ、日々の小さな出来事にも目を向け感謝の気持ちを持つようになりました。そして、サークル活動ができず悔しい思いもあった中、SNSでの先輩方からの言葉は私たちにも勇気をくださいました。どのような状況でも人とのつながりを持つことと、人を思いやる気持ちが大切であるということを改めて実感しています。

大学の外ではこれからも予測できない変化が待ち受けていることでしょう。その道は決して平坦なものではないと思われます。しかし、そんな時こそ先輩方がこれまで乗り越えてきた苦難や楽しい思い出、福山大学で身につけた知識や巡り会った友人たちとの「絆」を生涯の宝とし、信念を持って未来を切り拓いていけることを願っております。

我們在学生は三蔵五訓の理念のもとに、これまで先輩方が築き上げてきた伝統と学風を継承し、この福山大学をさらに素晴らしい学び舎へと導いていきます。最後になりましたが、先輩方のご健康と今後ますますのご活躍を祈念して、在学生代表の送辞とさせていただきます。

令和3年3月20日

令和2年度 学位記授与式 卒業生答辞



卒業生総代
生命工学部 生命栄養科学科

久保 菜摘

冬の厳しい寒さも和らぎ、春の訪れを感じる季節となりました。本日は新型コロナウイルス感染症による困難な状況の中、このような素晴らしい式を挙行していただき、第二部卒業式の卒業生一同を代表して厚く御礼申し上げます。ここに、卒業の日を迎えられたことを大変嬉しく思います。

また、お忙しい中、ご臨席くださいました理事長鈴木省三先生、学長松田文子先生をはじめ、諸先生方に心より御礼申し上げます。先ほどは、理事長先生並びに学長先生より訓示と激励のお言葉を賜り、また在学生の方からは温かい励ましの言葉をいただき、重ねて御礼申し上げます。

4年前の春、これから始まる大学生活に希望と不安を抱き、この福山大学に入学したことが昨日のことのように思い出されます。私にとって4年間という時間はあっという間でしたが、多くのことを学び、経験し、様々な人との出会いもあり、実に有意義な時間を過ごすことができました。それも、支えてくれた両親や先生方の優しく、時には厳しいご指導によるものだと思います。また、関心のある分野を広く学ぶことのできた学内での講

義だけではなく、学外での活動においても価値のある経験をすることができました。そして何より、大学生活で出会えた同じ学科の友人たちとは、ともによく遊び、そして互いに切磋琢磨した時間は、この上なく贅沢なものでした。実習や管理栄養士国家試験の合格に向けての勉強では、期待どおりの結果を出せない時もありました。そんな時、励ましてくれる友人の言葉にはどれだけ心が救われたことでしょう。卒業に際して喜びを覚える一方で、友人たちとの別れに寂しさを感じずにはいません。

今日、この日をもって私たちはこれから様々な思いを胸に、新しい道を歩んでいきます。私たちの前途は決して安易なものではなく、多くの壁が待ち受けているかもしれません。そのような時、私たちにはこの社会の一員として自覚と責任のある行動をとることが求められます。この4年間で得た知識や経験は、きっとその時に役立つと思います。

最後になりましたが、今日まで私たちを温かく見守り、支えてくださった諸先生方並びに職員の方々に改めて御礼申し上げます。また、皆様のご健康とご多幸を、さらには在学生のより一層のご活躍と福山大学のさらなる発展を祈念し、卒業生一同からの感謝を込めまして答辞の言葉とさせていただきます。

令和3年3月20日

令和2年度 学生表彰(卒業生・修了生)

【学長賞】

部 門	学 部	学 科	学年	氏 名
スポーツ	経済学部	経済学科	4 年	泉 勇也
スポーツ	経済学部	経済学科	4 年	小倉 貫太
スポーツ	経済学部	経済学科	4 年	崎山 誉斗
スポーツ	経済学部	経済学科	4 年	山崎 友輔
スポーツ	人間文化学部	人間文化学科	4 年	斉藤 将
社会活動	人間文化学部	心理学科	4 年	小野 瑞季
社会活動	人間文化学部	心理学科	4 年	柿木 里予
社会活動	人間文化学部	心理学科	4 年	増原 直枝
学 業	経済学部	経済学科	4 年	小西 明里
学 業	経済学部	経済学科	4 年	森川 貴博
学 業	工学研究科	建築学専攻	2 年	河田陽依菜

※受賞者については、令和3年3月20日(土)の学位記授与式(卒業式)において表彰を行いました。

編 集 後 記

卒業生・修了生の皆様、ご卒業おめでとうございます。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、この学報も内容を調整しながら発行しました。今後も福山大学の情報をより良い形でお届けできるよう、工夫しながら進めていきます。

発 行 福山大学

編 集 福山大学広報委員会

〒729-0292

広島県福山市学園町1番地三蔵

TEL (084)936-2111

FAX (084)936-2213

<https://www.fukuyama-u.ac.jp>